



その 26

<高校生になる前とこれからの事>

何度もお伝えをしていますが、高校生になると、学校では生活面や自立面に関しての成長ではなく、実習と就労と就職、社会で働く事に向けての成長となっていきます。勿論、全くではないですが、中学生までの15年間で経験し学んできたことを活かし、その中での成長を望むという感じになります。 新たな成長に関しては、学校以外での生活や活動に託されてしまいます。

本当に中学生までのような「ゆっくり時間をかけて・・・」「様子を見ながら」「今のブームが過ぎてから」などとは言っていられなくなります。また、「これが出来たからこれは大目に見よう」や「これをやったからこれやれる」などの優しい対応は、その先の伸びに繋がらない場合があります。

支援学校といえども、高校は義務教育ではありません! 北支援学校は、小中高が同じ敷地内にあるので、エスカレーター式と認知されている方も多いようですが、高校の先生方は完全に切り離して考えています。

厳しい言い方をすると、高校生の時点で身に付けていて欲しかったことが出来てなかったとら、「身に付けていたら良かったのにね〜。出来ないなら仕方がない」という対応もなくはないです。 だから! そういう意味でも「高校は厳しいよー」の噂が立つ訳が見えて来ませんか? 小中学校の時のような感覚ではだめです!

高校に行くことが、本人にとってあっているのかということも問われ、進学を進められない場合もあります。

物事や人間関係、社会に関することに対して、自ら考えコントロールをする事が苦手で、そこに補助を必要とする特性を持っている子がほとんどです。 特性や個性、こだわりが強いから仕方がないわけではありません! その考えは今やアウトです! みんな、家族・学校・デイ・習い事から経験は積み、やるべきこともわかっています。では、「なぜやらない? できない?」それは「周りがやってしまうからです!」一人でやらせてあげてください! 少なくともスイッチメンバーになったからにはその力をつけてきているはずです! 今の高校生にも言える事です。



その 11

今日の活動ポイント!

<一人ウォーキングのレベルアップ>

スイッチの活動の軸の一つでもある一人ウォーキングのレベルが、どんどん上がっています☆ 活動の提供内容として、レベルを上げているのもそうですが、子供たち自身が、「ひとりで行動をすることに強い自信を持った」ことにより、自然にレベルが上がってしまっている☆のが大半の理由です☆

唐瀬通り。北街道(各東南北方面)。流通通り。刑務所通り(竜南通り)。 合計 6ヶ所の通りのあるお店に、指示通りに(カードを見て)行って来る活動です。 報告は必須です。

STEP1☞北街道(北)「ガスト」。 信号がなく、スイッチから一直線。目印もわかりやすく、徒歩 2分。

STEP2☞唐瀬通り「やきとり」/「しずてつストア」。1回角を曲がり小さな信号一つ渡る。徒歩 3~5分。

STEP3☞唐瀬通り「カラオケバンバン」「サーティーワン」。小さな信号 2つ及び 3つ。徒歩 7~10分。

STEP4☞ガストの信号を渡り北街道(南側)を通って、北街道 Y 字路の信号を通って帰ってくる。

STEP5☞とにかく多くのお店を知る事と、通りの名前を覚える事。

STEP6☞1回で 2~3 か所のお店に行く。(通りは 1 通りのみ) EX:北街道(北側)だけのお店 2 か所など。

STEP7~☞1回で数か所のお店に行く。(複数の通り含む) EX:唐瀬通り+刑務所通り+流通通り+北街道など

このような流れで行ってまいります。ただ、これは他の事への相乗効果を望むためのステップに過ぎません。

一人ウォーキングで何を学ぶか!

*ひとりで行動をする勇氣と自信

*場所の把握

*危険予測

*周り(景色・お店・信号など)の情報を見る力

*困ったらどうするか(スイッチでは帰ってくることを伝えていきます。)

*余暇活動への幅を広げる

*時間とペースを知る

*報連相

*片付けの仕方

などなど……。

力は確実についてきています。あとは他のことにどう関連付けていくかです。一人ウォーキングは「奥深いです!」。